

2009.7.5-6 (日一月) 雨 弥山&八経ヶ岳 ふたり



西口登山口



谷道合流点 ②

奥駈出合 (東西トンネル出合) ③



549 トンネル西口ー谷道 649 奥駈出合 717 弁天の森④ 746 聖宝ノ宿址⑤ 846-57 弥山 小屋・昼食 928 八経ヶ岳 1011 弥山 1015-26 弥山小屋 1106 聖宝ノ宿址 1145 弁天の森 1216 奥駈出合一尾根道 1311 トンネル西口

なお、前日は洞川温泉の民宿で泊まる。



弁天の森 ④



聖宝ノ宿址 ⑤

7-8 時間のコースであること及び、自宅からトンネル西口まで4.5 Hr はかかりそうということで、前泊とした。このおかげで、430 起床、500 朝食後宿発、600 前に登山開始となった。



聖宝ノ宿址 ⑤



弥山小屋近くは木道の登りとなる



弥山小屋



八経ヶ岳への道



オオヤマレンゲ保全柵 ⑥



八経ヶ岳

前日の予想はPMが雨ということで、早い出発となったのだが、すでに小雨模様ゆえ、雨具着用。行きは谷道を進む。道はまったく問題なく、巨木もあり、景色もいい。が、雨の早朝ゆえ、写真はほとんどがブレ。まともに撮れていない。





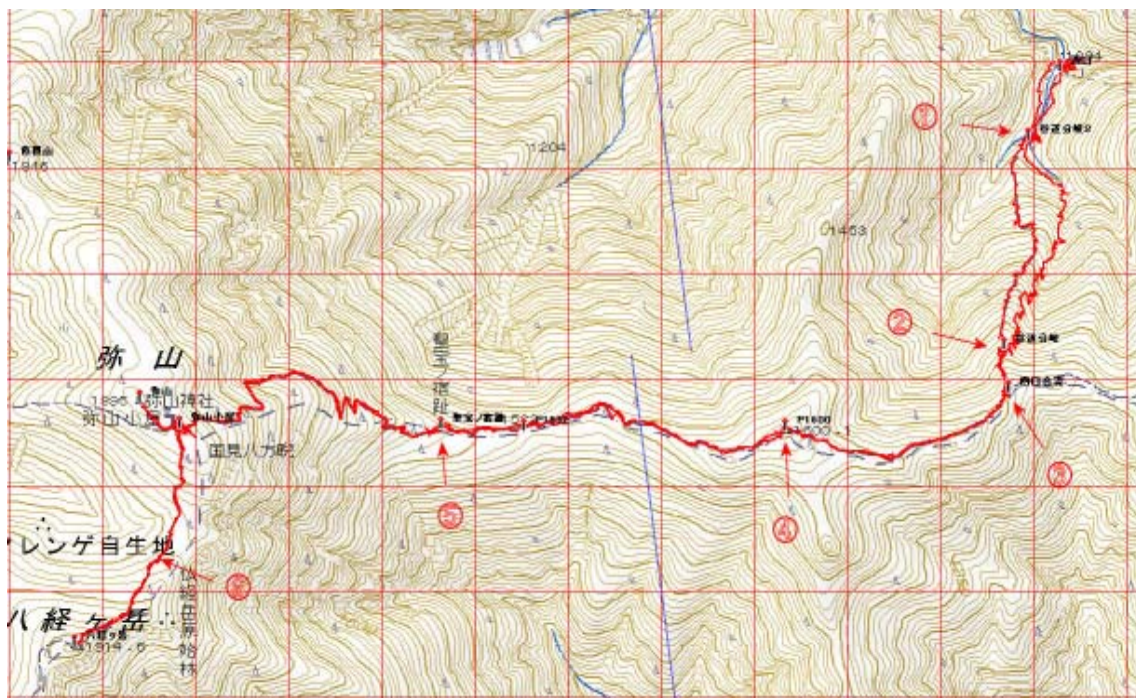
小屋近辺の山頂への標識

弥山山頂の神社

まともに撮れだしたのはオオヤマレンゲと出合ってから。聖宝ノ宿址のあたりからは雨具のみでは無理というくらいどしゃぶりとなり、傘も併用する。喘ぎながら小屋に到着。トイレの軒下で昼食とした。幾分小降りとなり、まずはオオヤマレンゲの見れる八経ヶ岳との鞍部に向かう。オオヤマレンゲは概ね4分咲きの様子。雨のことも忘れ、撮りまくる。初めてのオオヤマレンゲに感激だ。マツカゼソウの群落もところどころに見られる。八経ヶ岳の山頂からはなにも見えない。再び、オオヤマレンゲを鑑賞し、弥山山頂に。勿論ここでも景色はゼロ。帰り道は雨も止み、幾分太陽も出てきそうなくらいに明るくなってきた。行きで見つけることができなかったショウキランを見つけるべく、キョロキョロしながら下ったが、結果的には見つからず。13時すぎにはトンネルに着く。

---

宿泊先が洞川温泉（どろがわ）ということもあり、トンネル西口まで309号で行った。309号は狭い道であり、離合も困難な道だ。この事情から、帰りは東口ー309ー169号とした。309号の道も西側よりずっと良い。169号はデラックスな2車線でまったく問題ない。が、距離的には東側ルートの方が長いようだ。ナビは西側ルートを推奨。行きは日曜の昼過ぎ発で、比叡山坂本（寄り道あり）から宿まで4.5Hr（これまでの平日実績で3.5Hrくらいでいけるはず）、宿から西口まで1Hr、帰りは平日の昼過ぎ、東口から比叡山坂本（寄り道あり）まで4.5Hr。京奈和道路が開通すれば、3Hrはかからないで行けると思うのだが。現時点、櫃原神宮までは車より近鉄が圧倒的に早いようだ。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは <http://mametil.googlepages.com/おじさんの山旅2（2009）>

HOMEは <http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/>